

フジテコムと災害支援協定締結

浜松市上下水道部

漏水調査や他都市への支援活動協力

浜松市上下水道部は7日、フジテコムと「災害時における応急復旧活動の協力に関する協定書」を締結した。同日、同部住吉庁舎で協定書の締結式を執り行い、奥家章夫・浜松市水道事業及下水道事業管理者と森山慎一・フジテコム代表取締役社長が協定書を取り

交わした。

同協定は、災害による上下水道施設の被害発生時に迅速な応急復旧活動ができるよう、漏水調査に係る機材供給や人的支援の協力を行うもの。同協定の主な特徴は、①同社が多数保有する漏水調査専用機材を用い、被害

調査方法を選択することによる災害対策の強化・効率化②災害時の漏水調査へ人的支援を行うことによる早期かつ的確な復旧工事と断水被害の長期化の抑止③同市の他都市への災害支援に協力・帯同することによる応援活動全体の強化―の3点。

③の他都市への支援活動への協力を災害協定内で取り決めたことについて、同市では、地元管工事組合以外とは初であるとした。同社と

行う南海トラフへの対策も踏まえた防災体制の構築や耐震化のほか、能登半島地震の際には中部地方の政令市として早期から災害支援を行ったことに言及。「災害時には1日でも早い復旧が求められる中、弊社の機材、ノウハウを可能な限り、本協定に基づいて協力させていた。かつ今回の協定では、浜松市が他都市へ支援に行かれる時に私どもも支援させていたことも盛り込んだ。平時も含め、より協調させていただき、いざという時に確実に機能する協定にしていきたい」と述べた。

専門機材等の確保が復旧の第一歩として非常に重要だと認識した。各自自治体も機材、人員等に限りがある中での活動を強いられる状況で、豊富な知見や実績、機材、人的支援などをいただけたということは本当に心強い。当市が被災した際のご支援のみならず、我々が支援部隊として他の自治体へ向かっていくときに、ワンチームとして参加していただけたことは、これまで締結した災害関連の協定の中でもほとんど例のない取り組みであり、非常に意義がある。当県内で初の自治体との協定とも伺っており、本市を最初に選んでいただいたことにも重ねて感謝する」と一層の協力へ期待を寄せた。

協定書を取り交わした奥家管理者と森山社長

は、同市が試みであるという。森山社長

奥家管理者は「本協定締結の背景には、能登半島地震での災害復旧支援活動の経験があり、漏水調査技術を有する職員や